

宮城県復興まちづくり通信

Vol.23

平成27年11月発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室



トピック

1. 名取市地域づくり事業「キックオフフォーラム」が開催されました

平成27年10月14日、名取市のサッポロビール仙台工場内ゲストホールにおいて、名取市でまちづくりに取り組むNPOや町内会、地元企業の方々など約100名が参加し、「西松建設まちづくり基金 名取市地域づくり事業 キックオフフォーラム」が開催されました。

この基金は、西松建設株式会社からの寄付金を基に創設されたもので、基金事業によって、2018年まで名取市内で取り組まれる地域づくりに関する非営利の活動に対し、資金助成が行われることとなります。本フォーラムは、この基金が今般、本格的な運用を開始することとなったため、それを契機として開催されたものです。

フォーラムの基調講演では、一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏より「5年目からの復興まちづくり～神戸の経験から～」と題した講演が行われました。この講演では、阪神・淡路大震災における御自身の経験をもとに、東日本大震災の被災地のこれまでの5年間を考察し、今後想定されるソフト面のリスクに対するアドバイスがありました。同氏によれば、復興の過程は「階段」と「踊り場」の連続で、震災から5年を迎える現在は、変化が目に見えにくい「踊り場」であり、徐々に関心が薄れ、各支援団体等による支援活動が停滞するため、この時期に十分なケアが必要であるとのことでした。さらに、避難所から仮設住宅そして恒久的な復興住宅へ移行した後のいきがい・しごとづくりが必要であるとのことがあったほか、復興とは、住民が自らの力でまちを取り戻すプロセスであり、住民主体で復興に参画する仕組みが重要であるとの指摘がなされました。当日の参加者からは活発な質問がなされ、復興への取り組みに対する関心の高さを感じることができました。



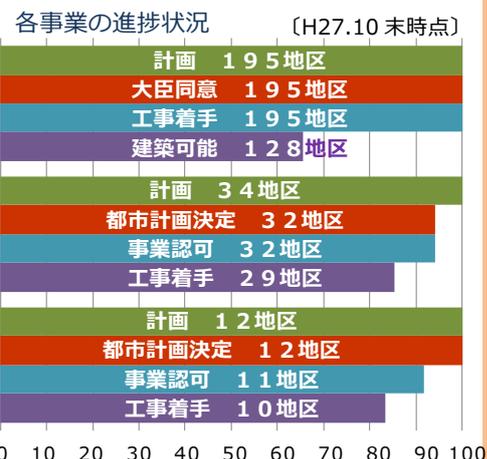
西松建設まちづくり基金
名取市地域づくり事業 キックオフフォーラム

2. 復興まちづくり事業の進捗状況について

防災集団移転促進事業については、計画地区数195地区の全地区において事業計画の大臣同意を得て、工事に着手しており、住宅等建築可能地区は128地区（約66%）となっています。

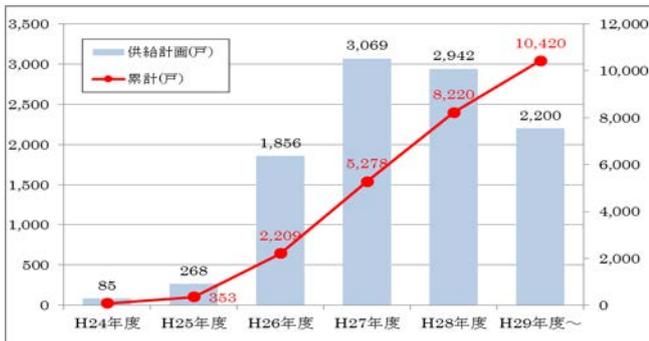
被災市街地復興土地区画整理事業については、計画地区数34地区のうち、32地区（約94%）で都市計画決定がなされ、事業認可は32地区（約94%）、工事着手は29地区（約85%）となっています。

津波復興拠点整備事業については、計画地区数12地区の全地区において都市計画決定がなされ、事業認可地は11地区（約92%）、工事着手は10地区（約83%）となっています。



■ 復興庁より民間住宅等用地及び災害公営住宅の整備工程をまとめた「住まいの復興工程表」（平成27年9月末現在）が平成27年11月19日に更新されました。

◇民間住宅等用地*の整備に係る進捗状況



「住まいの復興工程表」(27年9月末現在)

◇災害公営住宅の整備に係る進捗状況



「住まいの復興工程表」(27年9月末現在)

◇沿岸市町の宅地整備は全体計画10,420戸のうち、平成27年度末で5,278戸(51%)、平成28年度末で8,220戸(79%)が供給される予定となっております。

◇沿岸市町の災害公営住宅整備は全体計画15,564戸のうち、平成27年度末で9,591戸(62%)、平成28年度末で13,549戸(87%)が供給される予定となっております。

*民間住宅等用地とは、防災集団移転促進事業、土地区画整理事業及び漁業集落防災機能強化事業により整備された宅地をいう。

◇各地域の動き

石巻市で新市街地の“まちびらき”が開催されました

石巻市では、震災で住居を失った方々の移転先として、津波の心配のない内陸に土地を確保し、宅地造成工事を行って提供する「新市街地整備事業」を市内6地区で行っています。

今回、そのうちのひとつである新蛇田地区において、整備過程と現状を、市民及び支援をいただいている全国の皆様に実感していただくため、“まちびらき”イベントを開催しました。

メインステージでは、記念式典の後、地元中学生による吹奏楽演奏や、石巻市出身アーティストによるライブイベントが行われ、会場を大いに盛り上げました。一方、サブステージでは、市長による科学実験教室等が開かれたほか、周辺ブースでは地元工務店協同組合による手作り家具製作体験等が行われ、たくさんの親子連れが笑顔で参加しました。

また、会場には、復興事業に携わる国・県等の職員のほか、これまで復興を支えていただいた各自治体からの市への派遣職員も駆けつけ、市民とともに新しいまちの始まりを祝いました。



記念式典の様子

(「雄勝町伊達の黒船太鼓保存会」による太鼓演奏)

◇復興まちづくり推進室の取り組み

1. 平成27年度「宮城県企業立地セミナー in Nagoya」へ参加しました

平成27年11月9日、ウェスティンナゴヤキャッスル(愛知県名古屋市)において、中部圏の企業を対象とし、本県の魅力とともに投資環境等を紹介するため「宮城県企業立地セミナー in Nagoya」が開催されました。セミナーには、企業176社295名の方々が来場し、大盛況のものとなりました。当室では、東日本大震災からの復旧・復興状況や復興への取り組みをパネルにより紹介したほか、宮城県ブースにおいて、県内への企業誘致に向けたPR活動を行いました。



〔主催：宮城県企業立地セミナー実行委員会〕

2. 平成27年度第2回復興まちづくり事業勉強会を開催しました。

当室では、復興まちづくりの現状や課題を県や市町が共有しながら進めていくことを目的に、平成23年度より被災市町を対象とした「復興まちづくりに関する調整会議」を開催し、平成24年度からは「復興まちづくり事業勉強会」という形で年に2回を目安に毎年開催しております。

今年度は、4月23日に第1回を開催しており、2回目となる勉強会を10月28日に開催しました。当日は、復興庁宮城復興局より平成28年度概算要求概要及び税制改正要望概について御説明をいただいたほか、山元町からは産業商業誘致についての取組みを、女川町からは復興まちづくりの執行体制についての取組みをそれぞれ御説明いただきました。

女川町の復興まちづくりの執行体制の紹介に対しては、応援職員の引き継ぎの問題やUR、JVを含めた大きい執行体制の課題などについて質疑応答があり、問題の共有がなされ有意義なものとなりました。

勉強会後に回収したアンケートでは、今後取り上げてもらいたい議題について、「効果促進事業一括配分の事例紹介について」、や「各事業完了後の課題について」など、復興まちづくりの進捗に伴う課題が挙げられております。今後とも有意義な勉強会とするため、希望の多い議題については、次回の勉強会へ反映できるように検討してまいります。



勉強会の様子

3. 情報発信(新しい壁新聞が完成しました! / パネル展を開催します!)

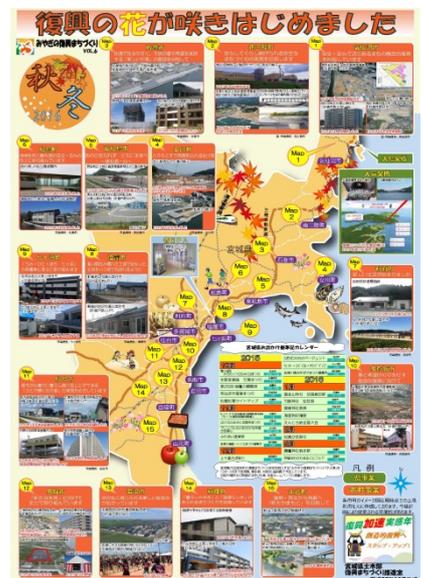
■「みやぎの復興まちづくりマップ(壁新聞)」VOL.6(秋冬号)が完成しました!

県内では、復興まちづくり事業が最盛期を迎えておりますが、当室では、沿岸15市町の最新の復興状況を写真やイメージパースなどで分かりやすく1枚にまとめた「みやぎの復興まちづくりマップ(壁新聞)」のVOL.6(2015年・2016年・秋冬号)を作製しました。このマップ内には、県内の秋冬の季節のイベント情報を催事記カレンダーとして記載しておりますので、是非御覧になってください。

■ 東京都内でも「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催します!

当室では、沿岸市町における現在の復興の状況を幅広く情報提供するための取組みを進めており、復興まちづくり関連情報を当室ホームページに掲載しているほか、関係機関や商業施設での掲示、県内外で開催されるイベント等での紹介を行っております。

今年度は、震災から5年の節目を迎えることから、沿岸市町で進められている復興まちづくりの最新の状況を市町毎に掲載したパネルを作成し、県内のほか首都圏などにおいても展示を行い、県外へも広く情報を発信する予定としております。この度、東京都内においてパネル展を開催することとなりましたので、お近くにお出かけの際には是非お立ち寄りください。今後とも、パネル展などを通して被災地の現状を認識してもらおうと共に、観光等による交流人口の増大を図り、1日も早い被災地の復興に寄与してまいります。



【みやぎの復興まちづくりパネル展開催のご案内】

- ◇ H27.12.23~12.27 東京都庁第一本庁舎南展望室 (東京都新宿区西新宿2丁目)
- ◇ H28.1.18~1.28 日本橋地下歩道 (東京都中央区日本橋室町1丁目: 日本橋三越本店新館前地下)

市町村からのたより

1. 気仙沼市 災害公営住宅が順次 完成・入居開始しています！

気仙沼市では市内28地区に2,139戸の災害公営住宅の建設を進めており、10月末には、公募買取方式で整備を進めている集合住宅タイプの市営館山住宅（30戸）と地元の工務店等で組織する一般社団法人気仙沼地域住宅生産者ネットワークで建設している木造戸建・長屋住宅タイプの市営長磯浜北住宅の一部（28戸）が完成し、入居を開始しました。

両地区の完成により、現段階で8地区9箇所438戸が入居を開始し、進捗率は約20.5%となり、今年度内には、更に南気仙沼（幸町）地区や切通地区など5地区で約240戸が完成し入居を開始する見込みです。



館山地区

気仙沼市 災害公営住宅整備課

2. 南三陸町 観光交流拠点盛土造成完了で見学会を開催しました

平成27年10月24日、南三陸町志津川地区五日町周辺の将来の商店街となる観光交流拠点予定地で、盛土造成が完了したことをもって現地見学会が行われました。会場では商店街や高台部の模型・イメージ図の展示や、重機の試乗体験・いも煮の提供などが行われ、多くの方々将来の商店街や街並みに関心を寄せました。また普段では入れない商店街予定地や見晴し台も解放され、復興の現状や工事の進捗状況を見ての驚きや期待の声も多く聞こえました。

町の区画整理事業での造成完了を以て敷地は、まちづくり会社に引き渡され、商店街の建築工事は平成28年春頃から着手する予定となっています。



展示説明の様子

南三陸町 復興市街地整備課

3. 女川町 第1回公園づくりワークショップ「清水公園の楽しみ方」が開催されました

平成27年10月29日、第1回公園づくりワークショップが開催され、50名を超える幅広い年代の参加者が、復興まちづくりで計画される公園について、利用者目線で楽しめる公園にするためのアイデアを出し合いました。

震災により、憩いの場や子供の遊び場を無くしたこともあり、参加者からは、安心して、気軽に普段使いできる空間を求める切実な声が多く聞かれました。

今後は、貴重なアイデアがひとつでも多く実現するよう、有識者のアドバイスをいただきながら実現可能性を検討していきます。

引き続き、第2回では震災遺構とメモリアル公園、第3回では海岸の観光交流エリアをテーマにワークショップを行っていきます。

【お知らせ】女川町では、スマホアプリ LINE@でまちづくりに関する情報発信を行っています。

ID 検索「@onagawatown」で友だちに追加いただけます。

女川町 復興推進課



○問い合わせ先 宮城県土木部復興まちづくり推進室

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1

TEL.022(211)3207 FAX.022(211)3295

e-mail fukumachi@pref.miyagi.jpHP <http://www.pref.miyagi.jp/fukumachi/>

復興加速



復興実感

がんばるっちゃ！
宮城県土木部